

令和4年度 青森市国民健康保険事業の事業運営について

1 運営協議会への協議事項

令和4年度においては、下記の「2 令和4年度 事業運営のポイント」を踏まえ、国民健康保険税の税率改定を行わない

2 令和4年度 事業運営のポイント

Point①

▶ 令和4年度の事業費納付金は、県が令和元年度及び令和2年度に市町村から徴収した事業費納付金の余剰分（県国保特別会計剰余金）の1/2を、令和4年度事業費納付金算定の際に減算財源として活用したため前年度から事業費納付金の予算額は約5.5億円減少（「4 県の国民健康保険事業特別会計の剰余金の取扱い」を参照）

Point②

▶ 事業費納付金の減少等により、歳入が歳出を上回る約3.2億円を歳出の基金積立金に計上

Point③

▶ 令和4年度当初予算時点で青森市国民健康保険事業財政調整基金の残高は約5.5億円へ改善

■青森市国民健康保険事業財政調整基金の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (3月補正後)	令和4年度 (当初予算)
積立額	300,519,846	183,096,671	10,373,612	34,452,000	325,790,000
取崩額	0	192,830,298	0	139,321,000	0
年度末残高	326,389,910	316,656,283	327,029,895	222,160,895	547,950,895 Point③

4 県の国民健康保事業特別会計の剰余金の取扱い

○県の剰余金の取扱いに関する提案内容

	(単位:千円)			(単位:千円)	
	令和元年度	令和2年度	合計	令和4年度納付金減算財源	県国保財政安定化基金
県剰余金額	1,933,350	4,335,374	6,268,724	3,134,362	3,134,362

▶ 県が令和元年度、令和2年度に市町村から徴収した事業費納付金について、令和元年度は国保財政の都道府県化2年目という事情もあり、被保険者1人当たりの診療費を堅実に推計したこと、令和2年度はコロナによる医療機関等への受診控えが生じたことにより、上表のとおり県国保特別会計に剰余金が生じることとなった

▶ 県は、都道府県化初年度となる平成30年度分の剰余金については、剰余金確定後の翌年度の事業費納付金の算定時に全額を減算財源として活用

▶ 令和3年度の法改正により、国が都道府県に設置した国保財政安定化のための基金に、令和4年度から年度間の財政調整機能が付与(令和3年9月15日付事務連絡、厚生労働省国民健康保険課)されることとなり、都道府県の国保特会で生じた剰余金を基金に積み立て、将来、事業費納付金が増加した場合などに活用することが可能となった

▶ 県では、令和4年度事業費納付金の算定にあたり、令和元年度及び令和2年度の県国保特会剰余金の1/2を納付金の減算財源とし、残り1/2を県の基金に積み立てることを市町村に提案

※上記、県の提案内容に対し、市として、事業費納付金の算定については、過大な剰余金が生じないように適切な見積りをしていただきたいと要望

3 令和4年度当初予算（案）の状況

予算科目（款）		令和3年度 当初予算	令和4年度 当初予算(案)	増減 (R4-R3)	予算科目の主な内容	対前年度増減理由
歳入	1 国民健康保険税	4,897,926	4,732,460	△ 165,466	国民健康保険税の現年課税分、滞納繰越分の収入	国民健康保険被保険者数の減少に伴う保険税収入の減
	2 使用料及び手数料	2,841	2,501	△ 340	保険税の督促手数料等	-
	3 国庫支出金	237	116	△ 121	国からの補助金	-
	4 県支出金	20,467,138	20,230,025	△ 237,113	歳出2款「保険給付費」等に対する県からの交付金等	歳出2款「保険給付費」の減少に伴う県からの交付金の減
	5 財産収入	157	155	△ 2	青森市国民健康保険事業財政調整基金の運用利息収入	-
	6 繰入金	2,750,281	2,627,494	△ 122,787	一般会計からの繰入金や財源不足時に基金から取り崩す繰入金	令和3年度では財源不足のため基金繰入金を約1.5億円計上したが、令和4年度では基金繰入金を計上していないことによる
	7 繰越金	1	1	0	前年度の決算剰余金（毎年度、決算確定時に補正予算で計上）	-
	8 諸収入	89,190	154,733	65,543	保険税の延滞金や国保加入資格喪失後に保険証を利用した人からの返納金等	令和4年度は、1件で高額な返納金（約6千万円）が生じる案件を予算に計上
歳入合計		28,207,771	27,747,485	△ 460,286		
歳出	1 総務費	417,038	393,768	△ 23,270	国民健康保険事業の実施に係る事務費や人件費等	国民健康保険事業の事務に使用する電算システムの改修費の減や配置職員の職位の差異による人件費の減
	2 保険給付費	19,928,951	19,702,916	△ 226,035	国民健康保険事業の保険者として負担する医療費のうちの保険給付費	国民健康保険被保険者数の減少に伴う保険給付費の減
	3 共同事業拠出金	5	6	1	退職者医療制度にかかる事務費	-
	4 国民健康保険事業費納付金	7,444,531	6,896,847	△ 547,684	県が県全体の国民健康保健事業費を賄うための財源の一部として市町村から徴収する納付金	令和4年度は、県が市町村から徴収する納付金を算定する際に、過去に市町村から徴収した納付金の余剰分を減算財源として活用したことによる (Point①)
	5 保健事業費	333,716	329,325	△ 4,391	特定健康診査、特定保健指導、人間ドック等の保健事業費	-
	6 基金積立金	157	325,790	325,633	国民健康保険事業財政調整基金への積立金	令和4年度において、歳出4款「事業費納付金」が大幅に減少したことにより歳入が歳出を超過する分として約3.2億円を基金に積み立てることによる (Point②)
	7 諸支出金	23,586	39,725	16,139	保険税を被保険者へ還付するための還付金等	令和3年度に実施した青森市の国保と他の医療保険への2重加入者の調査結果に基づき、令和4年度当初予算に2重加入時期に支払った保険税の還付金等を計上
	8 予備費	59,787	59,108	△ 679	予見し得ない不測の支出に備えるための費用	-
歳出合計		28,207,771	27,747,485	△ 460,286		